

事業所名

玉野市児童発達支援センター放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

令和7 年

2 月

1 日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|------|-------|------|---------|---------|--|----|--|
| 法人（事業所）理念 | | 元気を創る | | | | | | | | |
| 支援方針 | | ・ライフステージに応じた支援を継続的に提供することで、本人や周囲の理解を促進し、それぞれに合った社会参加を実現できるよう支援を行っていきます。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 授業終了後 | 15 時 | 0 分から | 18 時 | 0 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし | ※片道15分圏内が対象。迎え（行）のみ対応。免許や自家用車を持たれていないご家庭は行き帰りの送迎を実施。 |
| | | 学校休業日 | 10 時 | 0 分から | 16 時 | 0 分まで | | | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・基本的な生活リズムや日常生活スキル獲得への支援を行います。 ・本人の意向を受け止めながら、自分の生活をマネジメントできる力につながるよう支援します。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・姿勢や運動・感覚機能へのアセスメントを行い、運動機能向上につながる活動への取り組みや必要に応じて個々にあった補助手段の活用について検討、提案を行います。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・認知機能についてアセスメントを行いながら、個々の特性を理解して適切な行動の習得につながるよう支援します。 ・概念理解など、習得につながりやすい方法を用いながら、スモールステップで課題に取り組みます。 ・学校やご家庭での生活の中での行動についての振り返りや、適切な行動について学べるよう支援します。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・読み書きの力の定着が図れるよう支援します。 ・他者とのやり取りのなかで必要となるコミュニケーションスキルの向上につながるよう、課題の設定ややり取りの経験につながる機会を作ります。 ・状況に応じたコミュニケーションスキルの獲得を目指します。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・自分の気持ちについて理解することで、情緒の安定につながることや、自分自身の理解を深め、自分の行動、気持ちの調整につながるよう支援します。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | ①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等 ④学校生活に関する相談・助言等 ⑤きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 ・ご家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所での対面にて実施します。 | | | | 移行支援 | | ①事業所で支援し、習得した行動を学校、家庭などで同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行います。 ②インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園を活用し、集団活動を行います。 ③保育所や学校等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施します。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | ・事前の承認を得た後、学校や医療機関等と連携し、情報共有のため個別支援計画の作成、合理的配慮の活用等の環境調整を行います。 | | | | 職員の質の向上 | | ・法人内外の研修への参加 | | |
| 主な行事等 | | 【春】散歩、公園で遊ぶ 【夏】水遊び、夏祭り、お出かけ（100円ショップ、ゲームセンター等） 【秋】ハロウィン、マルシェ（出店） 【冬】クリスマス会、調理活動、初詣 避難訓練の実施（年2回） | | | | | | | | |